

### 【組織票についての公式見解：PDF】

日頃、『翻訳ミステリー大賞』及び事務局に多大なご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

翻訳ミステリー大賞は、第十一回より「予備投票」を、従来の翻訳者という枠をとり払い、出版関係者や読者のみなさまにもご参加いただくよう制度を改定致しました。

幸いにして多くのみなさまの投票をいただいたことで多種多様な作品が並び、例年にもまして素晴らしい候補作を選出することができました。ありがとうございました。

本賞の公平性を今後も維持し、さらなる信頼をお寄せいただくための第一歩として、ここであらためて組織票への事務局見解を示すことといたします。

翻訳ミステリーの紹介やさらなる普及、読者相互の親睦の拡充といった本賞の趣旨を妨げかねない組織票については、翻訳ミステリー大賞シンジケート事務局（およびその局内組織である予選委員会）が以下の基準にしたがって投票内容を慎重に精査、必要な場合にはさらなる調査や聞き取りをおこなった上で組織票と認定された票について無効票（\*）といたします。組織票（さらには二重投票やなりすまし投票等の不正票）を防ぐことは、大多数の方々が票に託した思いを守ることに通じると考えるためです。

\*無効票には、ほかに各種不正票や期日を過ぎての投票、対象作品以外への投票等があります)

### 【組織票と認定するための3要件】

- 1). 利害関係が生じる複数の者（例・師弟関係、雇用関係、金品の授受のある関係）が、
- 2). 呼びかけに応じて、
- 3). 同一作品に投票する。

翻訳ミステリー大賞シンジケート事務局